

事業者排出量削減報告書

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	607-8307 京都市山科区西野山射庭の上町294-1						
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社 王将フードサービス 代表取締役社長 大東 隆行						
事業者の主たる業種	外食店舗(餃子の王将)の運営・管理						
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者(大規模エネルギー使用事業者(原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者(大規模運送事業者(トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者(その他の温室効果ガスの大規模排出事業者(二酸化炭素に換算して3,000トン以上))						
計画期間	平成20年4月～23年3月						
基本方針	環境問題全般に対し、積極的・計画的に対応して行く。温暖化対策としては未利用・低利用エネルギー、バイオマス等の利活用を積極的に推し進める。						
推進体制	「環境問題対策室」を核に事案毎にPGを組み、計画的に対応して行く。計画を長期・中期・短期・情報収集期と区分し、進捗状況を確認しながら推進していく。 環境マネジメントシステム名称 KES step2 適用範囲 京都地域/直営店舗・工場・事務所 取得年月日 2010年4月1日						
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容				
	22	対象事業所	空調・厨房・給湯・照明・水の各分野において、総合的に負荷低減対策を実施する。				
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度(実績) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)	
	A 事業所等排出区分	9,097.0 t	8,762.0 t	-3.7 %	10,849.1 t	19.3 %	
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%	
	C その他排出区分	t	t	%	t	%	
	排出合計	*1 9,097.0 t	*2 8,762.0 t	-3.7 %	*4 10,849.1 t	19.3 %	
	実績に対する自己評価	直営店舗については時間延長や新規開店店舗等があり全体量としては増加しているが売上原単位では減少している。工場においては、委託製造品の内製化による増加の為、要因が特定できている。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)
	直営店舗	二酸化炭素換算 売上1千円当たり	0.0016 CO2-t	0.0014 CO2-t	-12.5 %	0.0011 CO2-t	-31.3 %
	工場	二酸化炭素換算 電気・ガス使用量	1,743 CO2-t	1,860 CO2-t	6.7 %	2,860.000 CO2-t	64.1 %
		二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価	店舗においては、空調、照明、厨房機器等の省エネタイプへの変更や店舗従業員の意識向上により効果が出ている。					
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)			報告年度(実績)		
		取組量等	(二酸化炭素換算)		取組量等	(二酸化炭素換算)	
	森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t		(整備面積) ha	(吸収量) t	
	府内産の木材の利用	(利用量) m <sup>3</sup>	(削減量) t		(利用量) m <sup>3</sup>	(削減量) t	
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量) kWh	(削減量) t		(発電量) kWh	(削減量) t	
		(熱供給量) GJ	(削減量) t		(熱供給量) GJ	(削減量) t	
	グリーン電力の購入	(購入量) kWh	(削減量) t		(購入量) kWh	(削減量) t	
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	(購入量) t	(削減量) t		(購入量) t	(削減量) t	
	削減量等合計		*3 t		*5 t		
差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)		
	*1 9,097.0 t	(+2)-(+3) 8,762.0 t	-3.7 %	(+4)-(+5) 10,849.1 t	19.3 %		
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	「京都市民環境ファンド」に寄付。						
特記事項	自然エネルギーを導入/太陽光発電(宝ヶ池店、八幡店、本社)、太陽熱給湯システム(宝ヶ池店、北白川店)、自然冷媒ヒートポンプ給湯器(宝ヶ池店、国道171号店、八幡店、福知山店、篠店) EV用充電スタンドの設置(本社) 平成22年度 京都環境賞大賞受賞 「エコアクションポイント」交換商品として「餃子の王将・食事券」を協賛						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。  
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。  
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。  
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。  
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。  
 6 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。